

令和2年7月31日

長野県知事

阿部守一様

長野県議会 改革・創造みらい

代表 小島康晴

新型コロナウイルス感染症対策に関する提言（第3回）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、生命の危機や社会活動の停滞をもたらし、グローバル化が進む現代社会における盲点の存在を、私たちに見せつける事態となりました。そのような中、本県におきましては、新型コロナウイルス感染症対策本部長である知事を先頭に、感染拡大を封じ込めるために多大なるご尽力をいただくとともに、自粛要請に県民が応えたことにより、新規感染者数の減少等がもたらされ、「第1波」の収束が図られたところです。しかし、感染の再拡大を防止するため「新しい生活様式」を定着させる必要があるなど、感染症への更なる対応は急務です。

おりしも、今月に入って、首都圏、関西圏を中心に若い世代への感染拡大が進み、中高年の感染増加傾向も目立ち始めました。本県でも連日感染が報告される事態に至っており、いわゆる「第2波」への備えも万全を期さねばなりません。

私たち長野県議会 改革・創造みらいは、県民の声をもとに、感染を最小限に抑え込み生活の基盤を守るという観点から、対策についての要望を取りまとめ、過日、長野県議会新型コロナウイルス感染症対策連絡本部に提出したところですが、知事におかれましても、次に掲げる事項についてご検討のうえ、今後の対策に反映されますようお願いいたします。